

大鹿村リニア対策委員会報告

大鹿村ではリニア工事による生活や環境に与える影響をできる限り少なくし、リニア工事が地域経済や村づくりに貢献されるよう、「大鹿村リニア対策委員会」で要望事項や対策を検討しています。

第12回及び第13回の対策委員会の内容を報告いたします。

第12回対策委員会（平成27年11月20日 午後1時30分～3時00分 開催）

○ 松川インター大鹿線の協議経過報告について

平成27年11月17日の4者（大鹿村、中川村、JR東海、長野県）打合せにおける確認事項を事務局より報告。

松川インター大鹿線改良計画について

- ・今後の整備スケジュール案を作成し、具体的な進め方を関係者間で協議していく。
- ・道路トンネル2本について、県とJR東海との工事協定に関し、平成28年2月の県議会承認を目標に準備を進める。
- ・現道拡幅について、JR東海にて設計を進めている改良箇所を優先し、施工範囲、施工主体を確定していく。大鹿村からの改良要望箇所については、JR東海の計画する改良箇所の整備状況を踏まえて、今後検討していく。
- ・半の沢について、道路トンネル工事の掘削土の置き場、また道路を含めた活用の可否を検討するため、中川村の協力を得ながら測量調査を進める。
- ・四徳大橋の拡幅については、橋の構造上及び通行安全上の問題があり、拡幅の可否について引き続き検討を進め、状況報告を行う。
- ・H27年度内にJR東海(株)の改良計画に関する地元説明会を実施していく。

○ 中部電力による自主環境調査の実施計画について（中部電力提供資料により事務局で説明）

- ・中部電力のリニア運転用電源供給計画において、工事の規模等を考慮して自主環境調査を実施する。
- ・調査項目は、動物・植物・景観・電波障害の4項目を基本とする。
- ・今後、ルート協議を経て調査計画を策定し、平成28年度～1年間環境調査を行い、平成30年度までに結果を取りまとめる予定。（猛禽類については平成27年11月より調査に着手）
- *結果の取りまとめ、公表方法について住民の意見を聞く機会を設けてもらいたいとの委員意見あり。

○ リニア中央新幹線工事車両が住民生活に及ぼす影響調査アンケートの提案について（前島委員）

前島委員作成のアンケート（たたき台）について、実施の可否を含めて検討を行ったが、検討項目が多いこと等により次回以降に協議を持ち越すこととした。

○ その他（事務局報告）

- ・リニア工事着手前の水資源事後調査の見学について、平成27年11月12日（木）に住民有志6名、役場関係者3名が参加し、JR東海の実施する寺沢及び小河内沢の水資源事後調査（流量、水温、pH、電気伝導率）の見学を行ったことを報告。
- ・松川インター大鹿線の渋滞をスムーズに通行するためのルール作りを対策委員会で検討するための資料作成の依頼について、観光協会を通じて大学教授と調整中であることを報告。



第13回対策委員会（平成28年2月5日 午後1時30分～4時40分 開催）

関係三者（JR東海、中部電力、長野県）に出席を求め、送電線ルート及び道路改良等の今後のスケジュールについて説明を受け、意見交換を行った。その後、委員のみで委員提案による住民アンケート実施の可否について協議した。

○ 送電線ルート（案）について（中部電力による説明）

（現地踏査結果に基づく架空送電線ルートの提案）

- ・送電線ルート検討のため、昨年9月から現地踏査を実施。踏査結果に基づく架空送電線ルートについて、図面とフォトモンタージュで提案。

*裏面に続く

- ・提案ルートを検討にあたり、大西公園、小渋橋、上蔵地区、中央構造線博物館の視点場からの景観に配慮しできる限り南側ルートとした。鉄塔数は10基とし、電線下の立木を伐採することで鉄塔の高さを抑えた。鉄塔色は今後行政と相談したい。改めて架空送電線がふさわしいと考える。

(青木地区 国道152号付近～小渋川変電所付近までの地中化による影響)

- ・地域一帯に地すべり地形が確認され、トンネル掘削等により地すべりを誘発する恐れがある。
- ・トンネルが集落や小渋川の下を通過するため、トンネル掘削による水枯れが懸念される。

(委員意見)

- ・架空送電線について賛否両論あり。
- ・景観への影響対策を検討するため、青木方面からの視点場を対策委員会で選定し、中部電力に対しフォトモンタージュを追加要望する。

○ 道路改良等の今後のスケジュール(案)について(JR東海による説明)

【道路改良計画(松川インター大鹿線、赤石岳公園線、国道152号)等説明会】

- ・拡幅箇所、トンネル、国道152号迂回ルートの考え方等の説明。H28年3月末～4月に開催。

【工事説明会】

- ・H28年度上半期中のできるだけ早い時期に開催。

【松川インター大鹿線 拡幅工事】

- ・拡幅5箇所について長野県とJR東海で設計内容について協議中。H28年夏頃工事着手。

【松川インター大鹿線 トンネル工事】

- ・2月の県議会承認に向けて準備を進めている。H28年秋頃工事着手。

【赤石岳公園線】

- ・改良10箇所について具体的な設計を進めている。H28年春頃工事着手。

【南アルプストンネル】

- ・契約手続きを進めている。H28年夏頃工事着手。

(委員意見とJR東海、長野県の回答)

- ・南アトンネルの工事着手(H28年夏頃)と工事説明会(H28年度上半期中)のスケジュールが重複するのは納得いかない。→(JRの回答)まずはJRの考えを示した。柔軟に考える余地はある。
- ・今までの要望に対して説明がない。→(JRの回答)H28年3月末～4月の住民説明会で説明する。
- ・工事車両が走り出した時に交通に支障があれば対応願う。→(JR、県の回答)対応する。

○ リニア中央新幹線工事車両が住民生活に及ぼす影響調査アンケートの提案について(前島委員)

(住民アンケート実施の必要性)

- ・住民アンケートは、リニア工事への住民の意向や不安について具体的に把握し、数値で示すことで議論の主観的な要素を極力排除し、住民の意向を具体化するために必要。アンケート結果はJR東海との交渉材料とする。対策委員会で実施してほしい。

(アンケート内容)

I ご自身について(1.性別 2.年齢 3.居住地 4.世帯構成 5.職業 6.居住年数)

II 住環境について(1)住みやすさ 2)大鹿村に住み続けたいか 3)大鹿村の誇りに思うこと)

III 大鹿村とリニア中央新幹線について(リニア開通の影響で関心を持つこと)

IV 大型ダンプ等の通行に関することについて

V 松川インター大鹿線を走る頻度、VI 利用目的、VII 主な利用時間帯について

VIII 大型車両を含むダンプのすれ違い追い越し(追い越され)について

※13歳以上の全村民を対象とする。

※アンケート内容は、他の複数のアンケートをミックスして育む会で協議して作成した。

(委員意見)

- ・アンケート結果はJR東海との交渉・協定の際のバックデータとして活用できる。
- ・もっと早い時期にアンケートを行えば参考となったが、今はその時期ではない。
- ・以前から対策委員会では住民意見を踏まえJR東海等に要望を行ってきており、いまさら対策委員会で住民に対してアンケートを実施する必要性を感じない。

(結論)

- ・対策委員会ではJR東海等に対し住民意見を踏まえた要望を行ってきた。アンケート自体を否定するものではないが、時期的に遅く実施しない。

○ 次回開催(予定)について

- ・次回の開催予定を平成28年3月24日 13:30～とした。

*現在行われているリニア着工前の調査状況は、大鹿村ホームページ、大鹿村ケーブルテレビ文字放送・データ放送で確認いただけます。

〈お知らせ〉 中央新幹線南アルプストンネル新設工事(長野工区) 請負業者が決定しました。

鹿島・飛島・フジタ共同企業体(JV) 工事終期:2026年11月30日